

少年時代、町の駄菓子屋巡りが大好きな子でした。  
 くだらないおもちゃを見つけては買い集め、ため込んで。  
 でもその時集めたおもちゃの楽しさのエッセンスが  
 今の私の仕事「手作りおもちゃの先生」の  
 アイデアの大きな源になっているんですよ。  
 おもちゃ=テレビゲームとってしまった今の子どもたちや若者に  
 この楽しさのエッセンスを伝えることってきっと大事なことですよ。



へびごま



そんな思いでお店を始め、この連載も始めたわけです。  
 とりあえず、こんなの知ってますか？  
 6月に並べてから一番よく売れているのがこれ、  
 「へびごま」です。



へびが回りながら  
 出入りするよ！  
 下にへびを入れると  
 いきおい  
 よく回して  
**秘密は下に入っている磁石！下のピンの  
 石磁力が金ぞく製のへびをくっつけて動かし！**

駄菓子屋はどんどんなくなってきているけれど、駄玩具はまだ絶えていません。  
 一生懸命昔のおもちゃを今風に復刻開発してくれている町工場や会社が  
 まだまだあるんです。「下町ロケット」に負けないその気概に拍手！  
 というわけで、毎回そんなおもちゃを紹介しながら、お店のドタバタを  
 気ままに載せていこうと思っています。  
 載せたおもちゃ、あなたは絶対欲しくなる！ 欲しくなったらお店においで！  
 (ただの宣伝かい！)



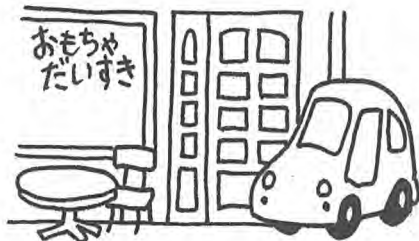
# 鎌倉おもちゃ屋物語

くろすかすきよ

その1

面白駄玩具の紹介と  
新米おもちゃ屋の  
どたばたエッセイ!

古都鎌倉の駅から長谷観音に向かう道  
「由比ヶ浜通り」の真ん中あたり、  
おもちゃのようなオレンジ色の車が  
停まっている赤い扉のおもちゃ屋さん。  
店の名前は「アナートルカフェ」。



オーナーは「山川さん」。おもちゃの魅力にとりつかれ、  
脱サラして店を始めた元編集者。

高級な外国製のおもちゃを中心に販売して15年。

昔は「ひげだるま」、今では自慢のひげも白くなって  
「サンタクロースの中身」。

実際12月はクリスマスまでこのヒゲを  
剃らずに赤い服を着ています。



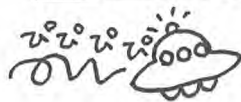
このお店の一角で突然「大人のおもちゃ屋」を始めてしまったのがこの私。  
安心してください。「大人の」と言っても変な意味ではありません。  
駄菓子屋に売っていたようなチープな駄玩具、大人の中の子ども心と  
好奇心をくすぐるおもちゃの専門店、その名は「遊帆屋（ゆうほや）」。

ここに来て面白いおもちゃをいっぱい買って  
遊び心の帆をいっぱい広げてボンボヤージュ（良き航海を）！  
この遊帆屋が今アナートルカフェを侵略中。

6月にもらったスペースが9月には棚をもう一つもらって……  
2020年の春にすっかり入れ替わって征服完了の予定です。

実は宇宙からやって来た侵略者の「UFO屋」だな！

そうかもしれませんね。まあ詳しい経緯はまたの機会に。



ともかく「保育系短大の先生」で忙しい中にいきなり「おもちゃ屋のオヤジ」  
のドラマが始まっちゃったものですからもう今てんやわんやなのです。

黒須和清 1955年東京生まれ。横浜在住。  
洗足こども短期大学教授として手作りおもちゃや人形劇  
を教えるかたわら、ペーパークラフトや執筆活動、研修  
会講師の仕事などで忙しい。